

令和3年度第2回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和4年2月15日(火)午後3時30分から4時45分まで
2. 開催場所 市役所本庁舎4階中委員会室
3. 出席者 市役所会場での参加:上田副会長、野崎委員、
Zoomでの参加:松上会長、多賀委員、浅野委員
事務局:石田センター長、高花主幹、岸下主査補、長谷川主任主事
4. 欠席者 田中委員
5. 傍聴者 なし
6. 議題 ①令和3年度事業実施状況について (公開)
②令和4年度事業計画(案)について (公開)
③その他 (公開)
7. 配布資料
資料① 令和3(2021)年度事業報告
プラネタリウム来館者集計(令和4年1月)
資料② 令和4(2022)年度事業計画(案)
資料③ 文化センターのあり方検討事業について
8. 会議での確認・承認事項
①令和3年度事業経過の確認
②令和4年度事業についての承認
9. 議事 以下のとおり

事務局	<p>松上会長がZoomでの参加だったため、司会進行を上田副会長が行うこととする。</p> <p>議題①「令和3年度事業実施状況について」事務局より報告を行う 資料①参照</p> <p>令和3年度は、コロナ感染症対策をしつつ、当初の計画にそって、すべての事業を行うことができた。</p> <p>来館者数を2年前(平成31年度)と比べると、一般投映は13時30分の投映を減らしたため、約半数ほどに減ったが、幼児投映は土曜に1回投映を増やしたため、2年前より微増している。</p> <p>学習投映、幼児団体投映については、新型コロナウイルス感染拡大により、予約のキャンセル及び日程の変更が相次いでいるが、現在のところ、学習は2年前の約8割、幼児は約7割弱ほどの来館者数である。コロナによって来館できない児童生徒のためにスタートした「どなたでも学習投映」の来館者数は少なかったが、来年度も投映時間を変更して、継続する予定である。</p>
-----	--

昨年中止し、今年度再開した「ひよこプラネタリウム」は定員いっぱいになる回もあり、好調であるが、土曜日と水曜日を比べると、土曜の来館者数が顕著に多い。コロナにより行動が友人同士から、家族単位へ変化したためと思われるが、この影響が、やはり今年度再開した「にんさんぷラネタリウム with 図書館」にもみられる。こちらは木曜のみ開催のため、来館者数が0人の回もあった。来年度は、開催日を木曜日から土曜日に変えて、様子を見る予定である。

リラクゼーションプラネタリウムは人気が高く、8割近くをリピーターが占め、定員を超える回もあった。ジャズ音楽は特に人気である。

「あなただけのプラネタリウム」もコロナ禍で、他人との接触を避けることができるためか、人気が高く2年前より来館者数が増えている。

観望会は、当初電話予約であったが、毎回定員30人が、予約開始15分ほどで埋まり、どうしても参加できないというお客様の声があったため、2月の星見会からは、応募方法を変更し、メールとはがきでの申し込み、定員を超えた場合は抽選とした。定員枠の「30人」は、継続予定である。

天文教室は、ほぼ100%リピーターで、毎回20人ほどの方が熱心に参加している。スター・キッズ・クラブは定員20名のところ、27人と多めのメンバーを受け入れたが、密を避けながら、予定通り講義・実習を行うことができた。

昨年度中止した天文講演会は、今年度は、白井市市制20周年事業と関連付け、大ホールで開催することができた。予約制で定員400人のところ、230人ほどの申し込みがあったが、開催日近くにコロナ感染拡大の兆候が見られ、直前で欠席される方もあり、参加者は142人であった。

●●

令和3年度プラネタリウム事業経過について意見はあるか

●●

コロナ感染症の拡大状況は、来館者数に影響を及ぼしているのか。

事務局

一般投映はコロナによって減っているが、リラクゼーションプラネタリウムは以前より増えている面もあり、動向が掴み辛い。

蔓延防止措置がとられている時に来館が増え、解除されると減るという面もあるので、コロナで遠くに行けないので、近場で楽しもうという方がプラネタリウムに来るのかもしれない。

●●

昨年は、幼稚園で来館するのを遠慮したが、今年度はプラネタリウム館での感染症対策について保護者の方にもお手紙でお知らせをし、安心して来館することができた。どんな感染症対策をしているのかわかるのは良い。

<p>●●</p> <p>事務局</p>	<p>他に意見はないか。では、令和4年度事業計画（案）について願います。</p> <p>議題②「令和4年度事業計画（案）について」事務局より報告を行う 資料②参照</p> <p>令和4年度は、惑星大集合、皆既月食中の天王星食、2年2か月ぶりの火星大接近があり、惑星を中心に事業を進める。</p> <p>例年と同様の事業を計画しているが、変更点として、一般放映の時間を「アストロアワー」と呼ぶこととする。今まで子ども向け放映「ロイ君アワー」に対して、愛称がなかったためである。また、この「アストロアワー」の番組変更スパンを、今まで約3か月だったものを、約4ヶ月に伸ばすこととする。制作にかかる時間と来館者数の割合を考慮した結果であるが、それにより、1年間の番組制作本数が1~2本減ることとなる。</p> <p>通常放映は11時30分と15時とし、13時30分に不定期のイベント放映を行う。今まで11時開始の「にんさんぷラネタリウム With 図書館」と、9時30分開始の「どなたでも学習放映」は、土曜日の13:30に行うこととする。</p> <p>コロナで中止していた「昼間の星を見る会」、「ライブコンサート」を少しずつ再開する。マナー化し、来館者数が減少傾向だった「昼間の星を見る会」は、回数を減らし年5回とし、そのうち3回は「太陽黒点を見る会」そして「昼間の金星を見る会」「昼間のベガを見る会」とする。太陽は、レンズをのぞき込むプロミネンスの観望は避け、しばらくは投影法による黒点の観望のみとする。</p> <p>また、特別観望会としてセンター敷地内で「皆既月食および天王星食を見る会」を開催する。この会は予約不要とする。</p> <p>ライブコンサートは、以前にも開催したジャズピアニストの「渡辺かづき」さんをお呼びする。料金は、前売り、当日券ともに1,000円とする。定員数は、コロナの感染状況をみて考慮する。</p> <p>最後に、運営協議会の現委員の任期は、6月30日までである。あと少しよろしく願います。</p> <p>●●</p> <p>●●</p> <p>令和4年度事業計画（案）についてについて意見はあるか</p> <p>木曜日の午前中は、シニアのリピーターが多いようだが、プラチナアワーのテーマに、今大河ドラマで、鎌倉時代を取り上げているので「鎌倉時代の天文現象」というのはどうか。明月記の中には超新星爆発やオーロラの記述があり、この時代、磁気嵐がすごかったといわれている。</p> <p>事務局</p> <p>令和4年度のテーマは2名の担当者によって既に決定済であるが、参考にする。</p>
----------------------	---

●●	<p>リーフレットの後ろにメール配信サービスの案内があるが、来館者は登録しているのか。年配者は登録が大変かもしれないが、登録しておくと思う。</p>
事務局	<p>●●委員はしろいメール配信サービスをご存じか。</p>
●●	<p>知らない</p>
事務局	<p>「しろいメール配信サービス」は、白井全般の情報の中から、防災や子育てといった興味のあるテーマを選び登録すると、関係ある各課から情報が配信されるもので、プラネタリウムは「文化センターイベント情報」「コンサート情報」「イベント講座情報」に登録した人に、情報を配信している。登録者がプラネタリウムの利用者とは限らないのだが、プラネタリウムの情報源の一つとして活用してもらえたらと思っている。</p>
●●	<p>文化センターイベント情報に登録しているが、文化会館の情報が多く、プラネタリウム館の配信頻度はあまり多くないように感じる。</p>
事務局	<p>本来もっと配信すべきであるが、この2年間、定員を半数の40人に絞っていたため、来館誘致に消極的で、配信を控えてしまった。</p>
●●	<p>中学卒業が近い3年生に天文の単元があり、興味を持っている子がたくさんいて、教師ももっと面白い話をしてあげたいと思うのだが、専門外だと難しい。子どもたちの自由研究の発表をみると素晴らしいものを作ってくる。子供たちがもっと学芸員や図書館司書など専門職の人と気軽に話せる機会がつかれないか。</p>
事務局	<p>南山中学校を例に挙げると、子どもたちから、①投映の前に知りたいこと②プラネタリウムで分かったこと、③投映者に向けて思うことを書いたものをいただいている。それによると、子供たちの知りたいことはブラックホールや星座、スペースデブリ。一方教科書で勉強する内容は、日周運動や年周運動で、子どもたちの天文に対する興味とは大分離れていると感じる。ただ、ドームでの学習の後、年周や日周について、なるほどという発見はしてくれている。</p> <p>子どもたちの興味関心に応えられる機会はどこかで持ちたいと思っている。</p>

●●	自由研究の計画段階の時、学校に来て話してもらうのもよい。
●●	他に意見はあるか。では、その他についてお願いします。
事務局	事務局から③その他として 「文化センターのあり方検討事業の経過と今後のスケジュールについて」報告を行う 資料③参照 目的、検討方法、これまでの経過は書面の通り。4回目までは、主に財政面から検討が進められてきたが、これから来年度にかけて、今後のありかたについて話し合う予定である。検討委員会会議の結果は、来年度の運営協議会内でも報告するので、その際には会議で出された内容について意見をいただきたいと考えている。
事務局	最後に、現運営協議会委員の任期は6月までである。なにか1言ずつお願いします。
●●	同じくプラネタリウム館を運営している立場として、白井の事業計画を見て、参考になる共に、良くやっていると感じる。その調子で頑張ってもらいたい。
●●	来館者集計を見て、白井は、近隣市町村からの利用も多い。市内だけでなく、近隣市町村にもアピールして、地域に開かれたプラネタリウムとして愛されてほしい。
●●	市でプラネタリウムを持っているのは、白井市民にとって良いことであるし、近隣市町村にもアピールしてほしい。特に地学は難しいが勉強すると大変おもしろい。それを若者でも年寄りでも、知る機会があるのは素晴らしい。これからも頑張ってもらいたい。
●●	幼稚園でも試行錯誤しているが、プラネタリウム館でもこのコロナ禍での新しい在り方を見つけ、頑張ってもらいたい
●●	コロナ禍でも来館者が増えている事業もあり、白井市にこのような場所があってよかったと思う。中学生がもっと天体にふれる機会が増えればよい。
●●	他に何かあるか。 では、これで令和3年度第2回目のプラネタリウム館運営協議会を終了する。 以上